

## 第 9 期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

部 会 名	社会参加・就労支援部会
開 催 日 時	令和 7 年 11 月 21 日 ・ 18 : 00 ～ 19 : 00
記録担当委員	村松 広美
<p>【協議概要】</p> <p>配布資料：なし</p> <p>1 前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選択就労支援のサービス運用にあたってのポイントとなることを確認</li> <li>・ 計画相談事業者にオブザーバー参加してもらい、意見を聴取した。</li> <li>・ 就労選択支援のサービス運用にあたり課題となる点について確認</li> </ul> <p>2 本日の確認事項、主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の内容自体は就労移行支援と大きな違いはないと感じる。そこにどこまで意思決定支援の考え方を落とし込めるか。</li> <li>・ 都内 20 か所、多摩では 3 か所開設しているが、特支の卒業生を全員受け入れるというキャンペーンはない。都が開設を促すために基準緩和を行っているが、それでも採算は合わず、当初参入を検討していた営利法人はほぼ撤退している。</li> <li>・ 計画相談と伴走（就労継続支援）を分ける方が良いのか。計画相談自体の数が足りなくなっている本市では、なかなか対応が難しい。A型、B型事業所と併設しているところが担い手になるか、又は市が担うということもある。市が担い手になるとすれば障害者センターや就労支援センターが中心になるのではないかと。既存センターが担い手になるということは共通認識であると思う。</li> <li>・ 就労支援センターはスペースの問題でなかなか参入は難しい。</li> <li>・ 実際に対応する職員が非常勤職員ではボリュームに対応できない。専門職があれば、就労支援センターが担い手としての資格は十分と思う。</li> <li>・ 市が主導している自治体は区部では例があるが、市部にはない。</li> <li>・ どこにやってもらうか、センター的なものを作るのか、仕組みを作ってやるのか、市のサービス事務所「こころ」は市内の事に一番詳しい。既存のセンターこころに出来ればお願いしたい。</li> </ul> <p>3 次回開催</p> <p>令和 8 年 1 月 21 日（水） 17:00～</p>	